

autoCULT

Wendax WS 750 (ドイツ, 1950)

過去のブランド

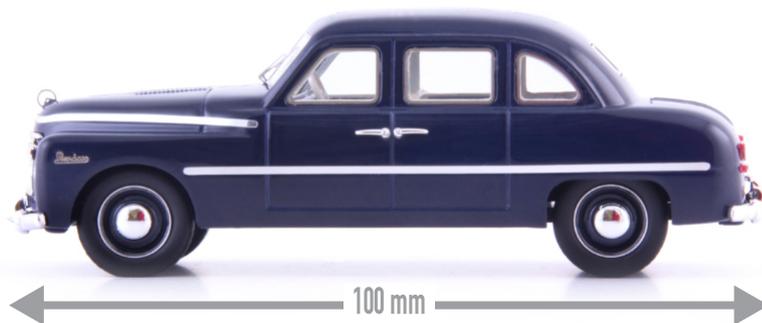
Scale 1/43

#02029

available

11/2022

limited edition 333 Stk.



ブラフと弱点と壊滅的記事

Draisinenbau Dr. Alpers & Co KG社は、1947年からヴェンダックスという社名で自動車の製造を開始した。エアロ WS 700に加え、同工場ではバンも提供していた。短期間での販売が成功し、経営者であるアドルフ・アルパース博士の事業推進に拍車がかかった。彼の頭の中には、ボルグワルド社のハンザ 1500を手本にしたリムジンが描かれていたのだ。数ヶ月という極めて短い期間で、この新しい乗用車は設計され、生産が開始された。

工場の生産力の多くはエアロタイプに割かれており、また鉄道用のハンドカーの製作も再開されたため、すべての従業員はそちらの対応で忙しく、新型車を集中的にテストする余裕はなかった。販売価格は5,750マルクと明記されていた。ほとんど利益が出ないような厳しい価格設定であったが、現場は大変なことになった。

ところが、このアドルフ・アルパース

博士の計算がうまくいかないことが、すぐに判明した。

1950年に発売された102km/hの高速セダン WS 750の当初の高揚感は、すぐに消え去った。その理由は、品質とデザインに大きな欠陥があったことだった。クレームが発生し、修理のための人手が必要になった。そのため、労働者は量産の仕事が出来なくなり、新型車の短い納期はもはや守ることが出来なくなった。1951年、有名なジャーナリスト、ヴェルナー・オズワルドが自動車雑誌「Das Auto」に掲載した「In Sachen Wendax」（ヴェンダックスについて）という記事が致命的な打撃となった。

アドルフ・アルパース博士は、1951年に自動車製造部門の破産を申請せざるを得なくなった。ハンブルクのヴェンデストラッセにある工場からは、合計で55台のヴェンダックス WS750が出荷されたのみであった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de